

令和8年度生物多様性保全推進交付金(エコツーリズム地域活性化支援事業)の採択事業一覧

No	協議会名称	事業の概要
1	津別町エコツーリズム推進協議会	町内の豊かな自然環境を背景に開拓期より脈々と続けられる当町の発展に礎となった林業・林産業のあり様や歴史、魅力を発信し、一次産業とも連携して付加価値をもたらすエコツーリズムを探求するとともに、自然環境の保全、増加する利用者に起因する課題(オーバーツーリズム、利用者のマナー低下対策、ヒグマ等野生動物との軋轢)を明確にするため、全体構想の認定を第1目標とし、認定後の運用を固める1年とする。
2	てしかがえこまちエコツーリズム推進協議会	貴重な自然資源を後世に残すための保全活動とエコツーリズムによる観光振興及び地域振興を基軸とした持続可能な経済活動を目指し平成28年に認定された『てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想』をまとめたが、近年の利用実態や改正エコツーリズム推進方針に基づき、自然資源のモニタリング、エコツーリズムのルールの周知、エコツアーの質の向上、観光関係事業者の人材育成などを行い、自然観光資源の保全と活用の共生による地域活性化を図るため全体構想の見直しを行う。
3	名張市エコツーリズム推進協議会	第5次観光立国推進基本計画及びエコツーリズム推進基本方針を踏まえ、自然環境の保全と適正利用の観点を反映した名張市エコツーリズム推進全体構想の改訂作業を行うとともに、令和6年度に構築したエコツアー認定制度に基づく認定エコツアーについて、環境配慮及び適正利用に関する内容を含めた情報発信を行う。 また、自然環境の保全と適正利用を踏まえたモニターツアーやガイド講習、コーディネーター・プロデューサー人材の育成のほか、エコツーリズム推進協議会の機能強化に向け、自然環境の保全及び適正利用を踏まえた段階的な体制整備を行う。
4	国頭村エコツーリズム推進協議会	国頭村エコツーリズム全体構想の認定に向け、令和7年度から引き続き、協議会・作業部会の開催、運営支援や全体構想の内容検討、与那覇岳を対象とした特定自然観光資源に関する検討等を行う。
5	竹富町西表島エコツーリズム推進協議会	現在の全体構想は、認定から既に5年を経過しているところであることから、令和6年度より利用状況の変化や運用後に見えてきた課題等を踏まえた全体構想の内容見直しに向けた検討を実施している。 令和8年度も、推進協議会の開催、エリア別ワーキンググループ等の各種推進協議会下部会議の開催、全体構想の見直しに必要となる自然観光資源に関する情報の収集・再整理、検討結果の整理・とりまとめ等を行うことで、改訂全体構想(案)を作成する。
6	恩納村エコツーリズム推進協議会	恩納村エコツーリズム推進協議会が主体となり、沖縄海岸国定公園内に位置する恩納村海岸エリア及びその周辺地域を対象として、エコツーリズム推進法に基づく「恩納村エコツーリズム推進全体構想」の原案作成に向けた調査、制度設計、合意形成及び情報発信を実施する。